

日本未熟児新生児学会平成21年度総会 議事録

日 時：平成21年11月29日（日）13：00～13：30

場 所：5階501+502（第1会場）

議 事

I. 報告事項

1. 理事長挨拶（戸荊理事長）

2. 庶務報告（本間幹事）

- ・会員数とその動向（会員3,082名、新入会290名、退会248名）について報告があった。会員数、入会者数共に昨年より増えていて、退会者数は減っていることが報告された。
- ・平成20年度資格喪失退会予定者97名について説明があった。21年度末で資格喪失退会予定者は81名となっている。
- ・物故会員の南部春生先生、馬場一雄先生（名誉会員）に対する黙祷が行われた。

3. 各種委員会報告

1) 日本未熟児新生児学会賞選考委員会（戸荊委員長）

今年度2名の受賞者があった。この後講演が行われる予定である。

2) フェローシップ選考検討委員会（戸荊委員長）

今年度のAJフェローシップは38名を採用した旨報告があった。

3) 雑誌編集委員会（堺委員長）

年間25～6編の投稿原稿がある旨報告があった。

4) 教育委員会（田村委員長）

来年度の教育セミナーを湯元こんびら温泉で行うことが報告された。

5) 社会保険委員会（小泉委員長）

「新生児科」標榜の要望が7/26日本小児科学会にて承認され、11/16に厚生労働省医政局総務課に提出された。内保連の小児科関連の委員会が10/02に開催。各分科会からの報告では感触がよいとの報告が多かったが、もっと厳しいと思われる。DPC変更要望につき意見があれば事務局にお寄せいただきたい旨報告があった。

6) サーベイランス委員会（山内委員長）

現在、新生児単純ヘルペス感染症、Paternal Uniparental Disomyの2疾患で進行中であり、田村理事より要望があったダウン症のTAMについて、新規登録を行うことが報告された。

7) 規約改定委員会（宇賀委員長）

学会を法人化するとしたらどのように進めていくべきか、専門の会計士・弁護士と情報を交換しながら進めていく予定である。

8) 学術集会の在り方検討委員会（三科委員長）

昨年の学術集会のアンケート結果を掲載しているのでご覧いただきたい。今年度分についてはぜひ回答をいただきたい。モニター登録された方の中から抽選で6名に板橋会長よりプレゼントが渡される予定である。

9) 広報委員会（堀内委員長）

ホームページが古くなっているので、リニューアルを予定している。来年度中には完成する予定である。

10) 倫理問題検討委員会（船戸委員長）

コロンビア大学の Orfali 教授から依頼があったアンケートにつき、評議員から 60% の回答を得られた。明日のミニシンポジウム、口演では委員が発表予定である。

11) 医療の標準化検討委員会（楠田委員長）

PDA のガイドラインが完成した。学会誌、ホームページで公開予定である。

12) 医療提供体制検討委員会（梶原委員長）

委員会に与えられた課題は正常新生児の取扱いである。正期産児の取扱いガイドラインを打ち出し、産婦人科学会側と調整を行う予定である。

4. 新／名誉・功労会員の件（戸荊理事長）

渡辺 勇先生、宮坂 勝之先生を理事会から推薦し、承認された。

II. 協議事項

1) 平成 20 年度決算に関する件

資料に基づき本間幹事より報告があり、安次嶺監事による監査報告の後、承認された。

2) 平成 22 年度予算に関する件

資料に基づき本間幹事より説明・報告があり、承認された。

3) 次期会長に関する件

先ほどの評議員会で次期会長に推薦された船戸正久先生が承認された。

4) 次期副会長に関する件

副会長に楠田 聡先生が推薦され承認された。

5) 禁煙宣言の件

本学会も参加すべきとの判断で理事会で宣言内容が検討され、承認された。

III. 新／会長・副会長挨拶

新会長船戸正久理事（淀川キリスト教病院小児科）より、Baby First, Child First の社会を目指して、と題して 11 月 5 日（金）～7 日（日）に神戸国際会議場で開催予定である旨報告された。新副会長の楠田 聡理事（東京女子医科大学母子総合医療センター）からも挨拶があった。

IV. 感謝状の贈呈

渡辺 勇先生、宮坂勝之先生に功労会員の感謝状が渡された。

V. 学会賞受賞者への賞状の贈呈

遠藤大一先生、中村俊紀先生に賞状が渡された。